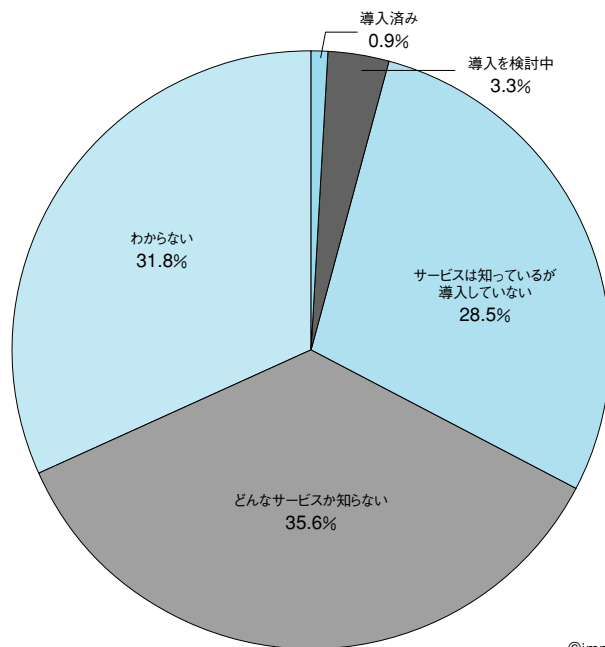


Google Apps/メール

Google Appsの認知度は32.7%、利用率は0.9%

資料3-4-5 Google Appsの認知と利用状況 N=1,500

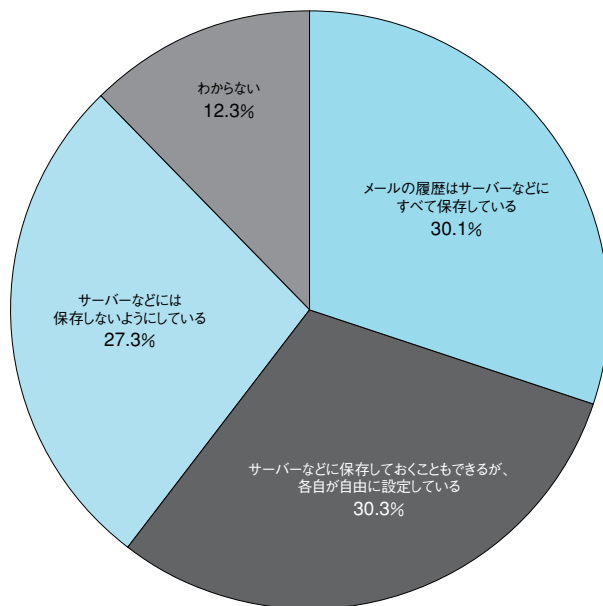


©impress R&D,2007

Google Appsの認知と利用状況を見ると、認知度は32.7%、利用率は0.9%である。Google Appsとは、Googleがウェブ上で提供している、メールやスケジュール管理、ワープロ・表計算サービスなどをまとめて提供しているアプリケーションスイートであり、導入した場合は自前でメールサーバーなどを運用する必要がなくなるなどの効果が見込まれる。

3割が全メールをサーバーに保存

資料3-4-6 メールサーバー保存状況 N=1,500



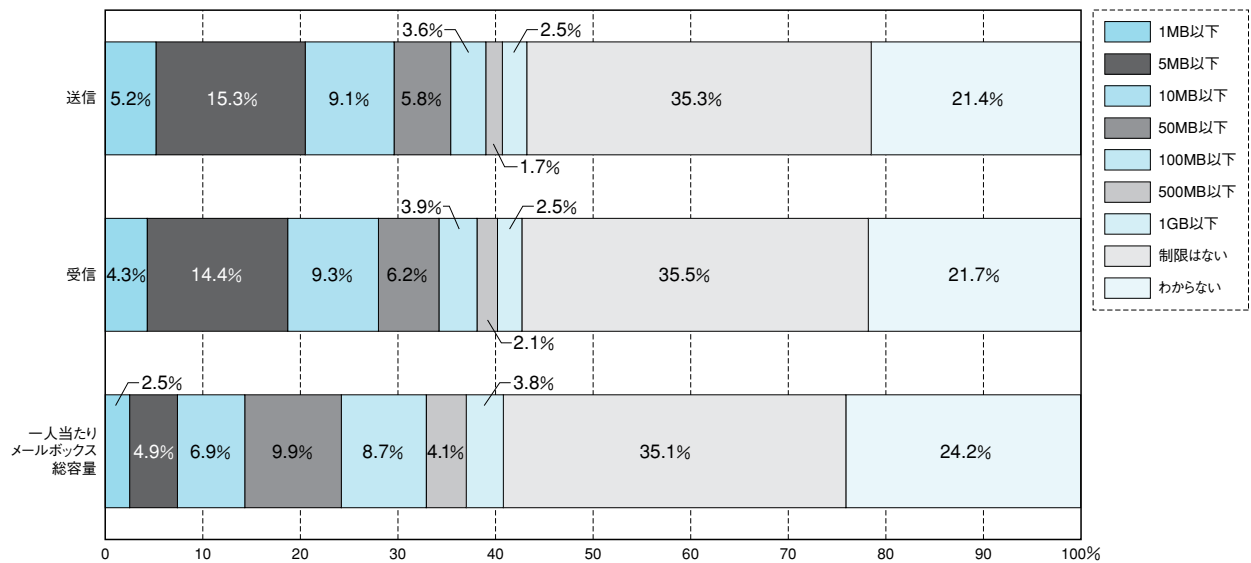
©impress R&D,2007

メールのサーバー上での保存状況を見ると、全メールをサーバーに保存、各自の判断で保存、サーバーには保存しない、が30%前後で並んでいる。JSOX法の内部統制では、メールも含めた全文書の保存が必要になるなど、今後、メールのアーカイブのニーズが高まることから、メールをサーバーに保存する企業が増えていくと考えられる。

メール

35%がメールの容量制限なし

資料3-4-7 メール容量制限設定状況 N=1,500

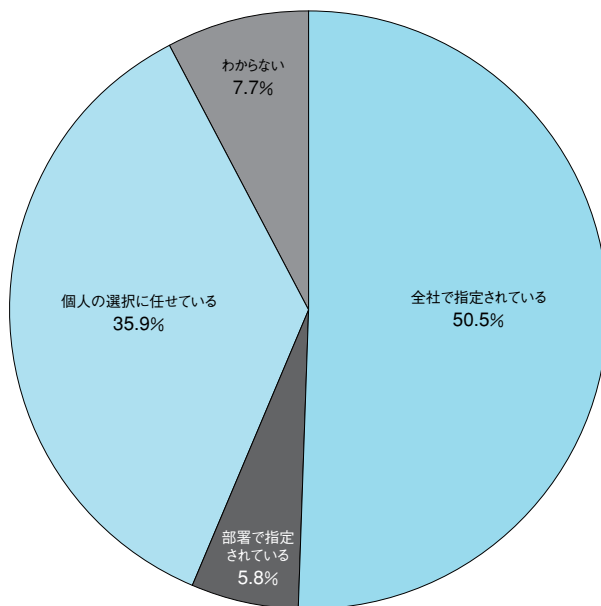


メールの容量制限設定状況をみると、送信・受信・各自のメールボックスとも「制限はない」が35%程度で最も高い。送信・受信の際に容量制限が設定されている場合は、1通当たりの容量は「5MB以下」が15%前後で最も高く、メールボックスの容量は「50MB未満」が9.9%で最も高い。

©impress R&D,2007

メールソフトは6割弱が指定

資料3-4-8 メールソフトの使用状況 N=1,500



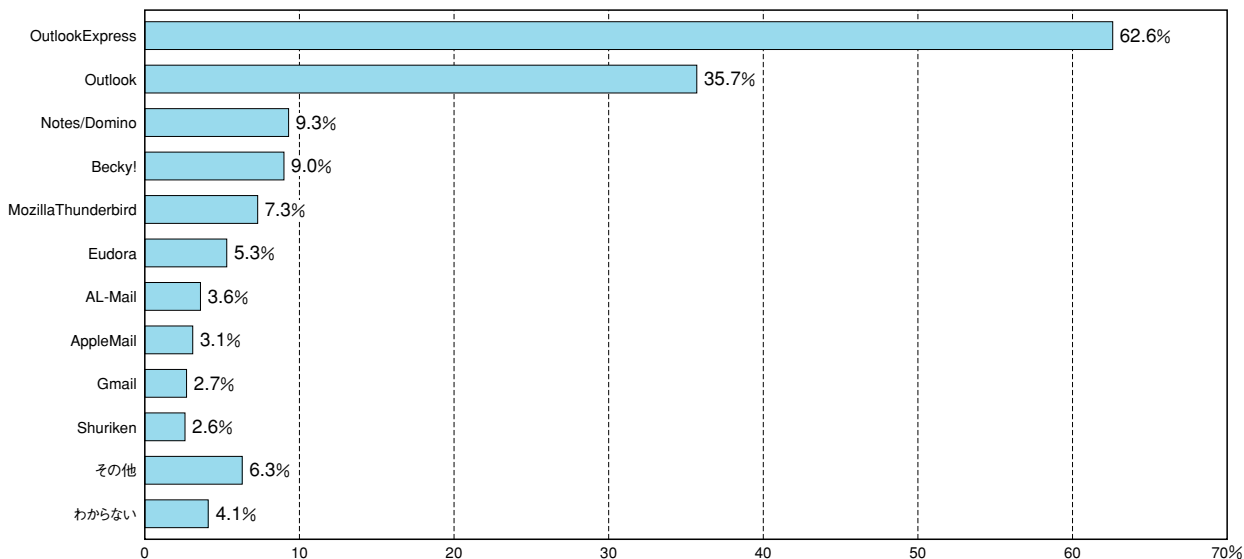
メールソフトの指定状況をみると、「全社で指定されている」が50.5%、「部署で指定されている」が5.8%と、指定されている比率は56.3%である。一方で、「個人の選択に任せている」は35.9%であり、メールソフトは指定されている比率のほうが高い。

©impress R&D,2007

メール

メールソフトは無償の「OutlookExpress」が62.6%

資料3-4-9 使用しているメールソフトの種類（複数回答） N=1,500

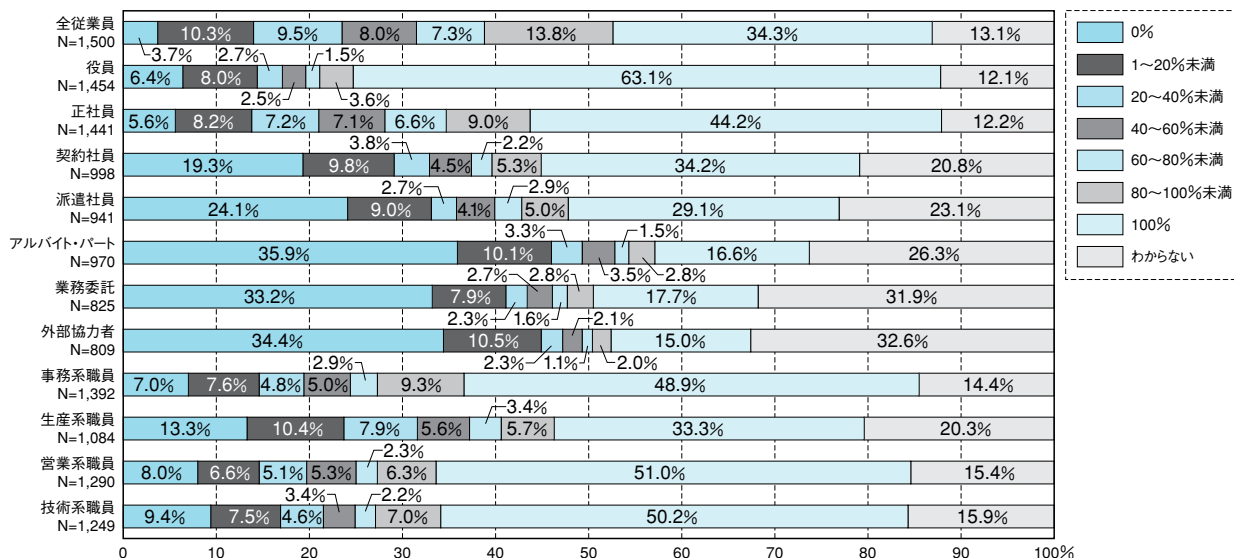


使用しているメールソフトは無償の「OutlookExpress」が62.6%と最も高く、ついで同じMS製品の「Outlook」が35.7%である。3位にはグループウェアである「Notes/Domino」の9.3%であるが、後述する「グループウェアの導入状況」（資料3-4-12）の導入比率13.4%より低い比率であり、メール機能は必ずしも利用されていない。

©impress R&D,2007

メールアカウントの発行比率は8割以上が約半数

資料3-4-10 メールアカウント発行比率 [契約形態別と職種別] N=1,500



メールアカウントの発行比率を契約形態別・職種別にみたものである。該当社員が存在しないサンプルは除外している。全体では「100%」の比率が最も高く、発行比率8割以上が半数近く存在する。契約形態別では役員や正社員以外への発行比率が低く、職種別では「生産系職員」への発行比率が低い。

©impress R&D,2007



[インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、データ、URL、名称など)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真・図の作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレスR&D)などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D(初期は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ iwp-info@impress.co.jp